

# 台東育英

VOL. 21

No. 2

台東区立台東育英小学校

校長 瀬下 清

TEL 3851-3600

<http://www.taitocity.net/taidouikuei-s/>

## 「多様性と共生」

副校長 原 之雄

もう大分前になりますが、世界中のジョーク(冗談)を集めたという本をパラパラとめくっていた時、概略次のような文章がありました。

「さまざまな国の人を乗せた豪華客船が事故に遭って沈みだしました。しかし乗客の数に比べて、脱出用ボートの数が足りません。船長は、速やかに船から脱出して海に飛び込むように、乗客たちに指示しなければなりません。それぞれの外国人乗客に何といて説得するでしょうか。」

アメリカ人には「飛び込めばあなたは英雄ですよ」と言い、イギリス人には「飛び込めばあなたは紳士ですよ」と言います。ドイツ人には「飛び込むのがこの船の規則となっています」と言えばOK。イタリア人には「飛び込むと女性にもてますよ」、フランス人には「飛び込まないでください」と言うのがよいのだそうです。では、私たち日本人には、何と言えばよいでしょうか。答えは「みんな飛び込んでいますよ」だそうです。あまりにステレオタイプで抗議したい気にもなりましたが、ジョークですし、自分自身を振り返ると、簡単に否定できないかなとも思いました。「みんなが」や「まわりが」を理由に、同調してしまう場面がないとは言えないような気がしました。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピックの一年遅れての開催まで100日を切りました。ダイバーシティ東京、今回の大会テーマの一つは、「多様性と調和」です。人種や肌の色、性別、言語、宗教、政治、障がいの有無等、「違い」を肯定し、互いを尊重し、共に生きる「共生社会」の実現を。日本の首都であり、世界最先端の国際都市「東京」にふさわしい素晴らしいテーマだと思えます。

以前、ある著名な教育学者が雑誌にこんなことを書いていました。曰く、「日本の学校では同調圧力が強く働き、自分たちの同質性を確認するために異質なものを排除する傾向がある。そして異質とされたものが排除やいじめの対象となりやすい。同質性に頼らずに人間関係、信頼関係を築けるようにすることができないのだろうか。」

確かに、生まれた土地、育った場所や環境、出身学校、そういったものが同じだと、「相手が何も言わなくても分かる」、「自分が何も言わなくても相手が分かってくれる」という安心感から信頼関係が作りやすいですし、その「何も言わなくても」という部分のもつ良さ、素晴らしさもたくさんあると思います。しかし、それが過ぎると、自分たち以外に対する寛容さを欠くことになり、時に閉鎖的、排他的になることもあるのではないのでしょうか。

人はそれぞれ違います。人には、一人一人異なった個性があります。自分を相手に無理やり合わせるのではなく、また、相手を自分に無理やり合うようにさせるのでもなく、違いを違いとして認め、共に生きる・・・これこそがダイバーシティの街、「東京」に生きる私たちのプライド。令和の時代のスタンダードとして、また、粋でいなせな江戸っ子のスタイルとして大切にしていきたいと思うのですが、皆さんはどう思われるのでしょうか。

\*多様性を意味する英語は「diversity」ですが、広く使われている「ダイバーシティ」を使いました。

## 学力向上を目指した本校の取組

教務主任 松崎 かおり

今年度も本校では、次の2つについて力を入れて取り組んでいます。

### 1. 【学習ルールの定着について】

- (1) 話すめあての「はい・たつ・です」、「か・つ・お」、聞くめあての「せ・め・て」「め・だ・か」「あ・か・く」を徹底します。(学年に応じためあてがあります。職員室前の掲示板や各教室に掲示しています。)
- (2) 各自が学習を振り返り、日直が代表して学習後の感想を言います。
- (3) 筆箱の中身を統一します。(えんぴつ5本、赤青えんぴつ、消しゴム、定規、ネームペン)  
※学習環境や学習規律を整え、集中して取り組むことで、じっくりと考えを深めることができます。

### 2. 【家庭学習習慣の定着について】

- (1) 10分×学年の家庭学習時間の定着を目指し、学期毎に「生活・学習パワーアップ週間」を実施しています。その期間だけではなく、継続して家庭学習に取り組めるようご協力お願いいたします。

全校児童が「勉強が楽しい!」「分かるようになってきたぞ!」と思えるよう、これからも様々な取組をしていきます。また、家庭学習の定着や学習用具の整備については、学校と家庭の協働体制が必要となりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

## 全校遠足について

特別活動主任 高橋 芳絵

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、6月8日(火)に全校遠足を行う予定です。子供たちの心に残る楽しい思い出となればよいと考えています。

今年度の行き先は亀戸中央公園です。

当日は、ペア学年で目的地まで移動した後、縦割り班の仲間と遊びます。縦割り班は、1～6年生全部の学年が入って30名前後で構成され、年間を通して交流していきます。縦割り班集会やクリーン大作戦、お別れ会食会など、さまざまな場面で一緒に活動することになります。異学年の結びつきが、さらに深まることを期待しています。

5月12日(水)には今年度の縦割り班の初顔合わせがあり、遠足のめあてなどをリーダーの6年生を中心に確認します。今、6年生は4月に入学した1年生のお世話を一生懸命にしてくれています。きっと縦割り班の中でもよきリーダーとして活躍してくれることでしょう。全校遠足当日は、お天気に恵まれ、楽しい一日になるようお願いしております。

後日配布されるしおりを参考に、斜めに肩にかけられる水筒などの持ち物の準備をよろしくお願いたします。また、水筒の中身が足りなくなることが予想されますので、500mlのペットボトルを持たせてください。

当日は、お子様の健康観察をよろしくお願いたします。



## 令和3年度にむけて

PTA 会長 小泉 祐輔

新緑の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より PTA 活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年度より PTA 会長を拝命いたしました、小泉と申し上げます。

保護者のみなさま、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。今年は59名の新入生を迎え、令和3年度がスタートいたします。台東育英小学校の良き伝統が脈々と受け継がれ、楽しい学校生活が過ごせますようサポートしてまいりたいと思います。

今年度も昨年度同様、まだまだ不安を背負っての生活が続くこととなりますが『冬は必ず春になる』という言葉があるように、忍耐強くこの困難をみなさまと協力しながら乗り越えていきたいと思っております。

私たち PTA としても今できることを地域の方々、保護者の方々と共に精一杯務め上げて参りたいと思っております。

保護者の皆様のご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



よろしく申し上げます

伊藤 幸恵 先生

中央区立有馬小学校より着任いたしました、伊藤幸恵（さちえ）と申します。中央区に13年間勤めましたが、台東育英小学校の前を、毎日自転車に乗って通勤していましたので、赴任することができて、すでに、とても親しみを感じております。入学式前の準備で、6年生とすれ違ったときに、見知らぬ私に机を抱えたまましっかりと挨拶してくれたこと、全校児童が始業式の時のしっかりと話を聞いている様子など、とても落ち着いた校風も素晴らしいと思いました。先生方や主事さん方も大変親切で、温かい雰囲気为学校で嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

村田 将基 先生

江戸川区立東小松川小学校から着任いたしました。この度は算数少人数担当になりました、村田将基と申します。子供たちの素晴らしい挨拶を見て感動しました。台東育英小学校での生活がとても楽しみです。“毎日笑顔で元気に”をモットーに、日々の指導を大切にしていきたいと思っております。一日も早く顔と名前を覚えてもらえるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

高村 真由子 先生

4月から栄養士として着任しました、高村真由子と申します。度々、子供たちから「美味しい給食ありがとう」の声が聞けて、嬉しく思います。栄養たくさん美味しい給食をご用意して、台東育英小学校の子供たちが毎日元気に学校生活が過ごせるようにサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。